

平成12年度バランスシートを公表 財政の健全化と公平性のバランスを保持

財政状況を的確に把握する方法として、従来からの「現金の出入りに着目した決算」に加え、最近では「資産面からの情報提供ができるバランスシート」への取り組みが、各自治体で行われています。平成12年3月には旧自治省からガイドラインが示され、バランスシートの作成は全国統一基準となりました。

狭山市でも、市民の皆さんに財政状況を積極的に公表するとともに、他の自治体との比較検討の資料として活用するため、平成12年度決算を基にして、平成12年度バランスシートを作成しました。

●バランスシートとは？

「バランスシート」とは「貸借対照表」と呼ばれる一定時点において市にどのくらいの資産があるかという「市の財産の状況」、その資産を取得するためにどのように資金を調達したかという「負債の状況」、その差し引きである「正味資産(皆さんの税金や国・県からの補助金などはいくらなのか)を総括的に表したものです。金銭の出入りだけでなく、市の財産の増減や負債の状況など、財務の運用状況が一目で分かる一覽

表になっていて、表の左側(借方は「資産の部」で、どのような資産を保有しているかを示しています。また表の右側(貸方は「負債の部」「正味資産の部」となり、資金をどのように集めたかを示しています。

左側で何らかの形で運用された資金は、右側で調達されていますので「資産＝負債＋正味資産」という式が成り立ちます。つまり、左側と右側の金額が一致するので、バランスシートと呼ばれています。平成12年度バランスシートは3頁参照

●平成12年度バランスシートの概要

平成12年度末の総資産は、1千765億32万6千円で、負債は499億338万1千円、正味資産は1千265億9千694万5千円となっています。

資産の部では、有形固定資産が資産全体の91%を占めています。負債の部では、地方債が負債全体の70%を占めています。正味資産の部では、市税などの一般財源が82%となっています。

●バランスシートによる分析

民間企業の場合、その活動目的は「利益の追求」にあり、もっとも考慮しなければならないことは「企業の継続」であることから、財務分析も「収益性」「効率性」「安全性」に重点をおいた指標を用いています。一方、地方公共団体の場合は、その活動目的が長期安定的な住民福祉の増進にあり、その指標も、収益性よりも「安全性」「世代間の公平性」「経済性」「効率性」「有効性」に重点がおかれます。狭山市では、自治体方式で、①経年比較貸借対照表 ②社会資本形成の世代間負担比率 ③決算額対資産比率 ④有形固定資産の行政目的別割合 ⑤有形固定資産の行政目的別割合

合別経年比較について分析しました。

狭山市の財政を考察すると、平成元年度と平成12年度の比較で、有形固定資産が642億円(59%増加)していますが、基金をみると22億円(29%)の減となっています。一方、資金原資をみると、地方債が流動負債と合わせて255億円(204%)の増と大幅に伸びており、正味資産は332億円(36%)の増となっています。これは、インフラ整備を財政の健全化から負担の公平性(次世代にも負担を求める)に移行した結果とみることができま。しかし、負債の増加は今後の財政を圧迫する原因にもなりますので、今後とも「健全化」と「公平性」のバランスを保ちながら、適切な財政運営に努めていきます。

なお、分析の詳細は、公式ホームページから財政課のページをご覧ください。どうか、財政課で配布しています。

●問い合わせ財政課へ内線7111

土地明細表

種別	取得価格
道路橋りょう	56億709万7千円
街路	95億6千408万1千円
公営住宅	6億5千589万5千円
小学校	68億5千342万6千円
中学校	46億5千70万2千円
その他	308億2千155万9千円
合計	581億5千276万円

狭山市のバランスシート(平成13年3月31日現在)

(単位：千円)

借方	貸方
【資産の部】	【負債の部】
1.有形固定資産	1.固定負債
(1)総務費 10,194,083	(1)地方債 34,697,306
(2)民生費 4,204,967	(2)債務負担行為
(3)衛生費 15,430,425	①物件の購入等 831,165
(4)労働費 472,102	②債務保証又は損失補償 0
(5)農林水産事業費 4,606,835	債務負担行為計 831,165
(6)商工費 364,753	(3)退職給与引当金 11,043,006
(7)土木費 58,920,536	(4)その他 0
(8)消防費 5,171,081	固定負債合計 46,571,477
(9)教育費 59,011,441	
(10)その他 2,053,957	2.流動負債
計 160,430,180	(1)翌年度償還予定額 3,331,904
(うち土地 58,759,283)	(2)翌年度繰上充用金 0
有形固定資産合計 160,430,180	(3)その他 0
	流動負債合計 3,331,904
2.投資等	負債合計 49,903,381
(1)投資及び出資金 3,141,541	
(2)貸付金 199,482	【正味資産の部】
(3)基金	1.国庫支出金 18,745,283
①特定目的基金 3,365,733	
②土地開発基金 2,880,462	2.都道府県支出金 4,178,150
③定額運用基金 0	
基金計 6,246,195	3.一般財源等 103,673,512
(4)退職手当組合積立金 763,104	
投資等合計 10,350,322	正味資産合計 126,596,945
3.流動資産	
(1)現金・預金	負債・正味資産合計 176,500,326
①財政調整基金 2,053,058	
②減債基金 0	
③歳計現金 1,801,614	
現金・預金計 3,854,672	
(2)未収金	
①地方税 1,852,086	
②その他 13,066	
未収金計 1,865,152	
流動資産合計 5,719,824	
資産合計 176,500,326	
	※債務負担行為に係る補償等
	①物件の購入等に係るもの 4,789,916千円
	②債務保証及び損失補償に係るもの 6,097,534千円
	③利子補給等に係るもの 0千円

主な施設の状況

(単位：千円)

施設名	取得年度	取得価格	減価償却累計額	残存価格	施設名	取得年度	取得価格	減価償却累計額	残存価格
庁舎	昭和60年度	4,716,000	1,539,120	3,206,880	柏原団地	平成12年度	57,128	12,678	494,450
市民会館	昭和54年度	2,439,633	2,164,477	25,156	富士見公民館	平成4年度	55,730	91,031	414,699
第二環境センター	平成7年度	11,158,794	2,678,111	8,480,683	博物館	平成2年度	1,728,031	380,167	1,347,864
社会福祉会館	昭和62年度	188,000	105,280	82,720	狭山台幼稚園	昭和53年度	82,000	37,720	44,280
広瀬保育所	昭和56年度	102,282	68,188	34,094	入間野中学校	昭和62年度	1,536,870	447,124	1,149,746
第四児童館	昭和62年度	416,000	232,960	183,040	教育センター	平成2年度	1,061,724	233,579	828,145
老人福祉センター-不老荘	平成10年度	385,350	46,242	339,108	入間川小学校	平成11年度	2,827,341	113,094	2,714,247
ふれあい健康センター	平成9年度	1,915,800	306,528	1,609,272	消防本部庁舎	平成9年度	1,663,450	133,076	1,530,374